



第25回

林忠彦賞受賞記念写真展

Tadahiko Hayashi Award

フィリピン残留日本人

JAPANESE REMNANTS OF WAR IN PHILIPPINES

船尾 修

OSAMU FUNAO



第25回林忠彦賞受賞記念写真展

□東京展 富士フィルムフォトサロン

4月15日(金)→4月21日(木) 会期中無休

10:00～19:00(最終日16:00まで) 東京フォトギャラリー連絡会の申し合わせにより、祝花は堅くお断り申し上げます。

東京都港区赤坂9-7-3東京ミッドタウン フジフィルム スクエア TEL(03)6271-3351

□周南展 ー林忠彦の生誕地にあるー 周南市美術博物館

5月6日(金)→5月15日(日) 9:30～17:00 月曜日休館

山口県周南市花島町10-16 TEL(0834)22-8880

□東川展 写真の町 東川町文化ギャラリー

11月27日(日)→12月12日(月) 会期中無休

10:00～17:30(最終日15:00まで)

北海道 上川郡東川町東町1-19-8 TEL(0166)82-4700

フィリピン残留日本人 ～終わらない戦後～ 船尾 修

フィリピンには戦前からたくさんの日本人が移民として暮らしていました。しかし第二次世界大戦の勃発で日本がフィリピンを占領してから彼らの運命は一変し、戦死あるいは日本へ強制送還されてしまいます。その子孫である日系2世はフィリピンへ取り残されることになり、さまざまな反日感情の渦巻く中、彼らの苦難の戦後が始まります。そして戦後70年となる現在に至っても残留日本人の多くは日本国籍を回復できていないのが実情です。

1960年神戸市生まれ。筑波大学生物学類卒業。登山家でもあり世界各地の山々を登攀する。1984年に初めてアフリカ大陸を訪れ、30歳前半までに合計4年程放浪旅行する。このときの経験から写真家への道を志し『アフリカ 豊饒と混沌の大陸(全2巻)』がデビュー作となる。その後フリーの写真家、ライターとして海外ルポなどを発表、これまでアジア・アフリカを中心に約70か国を訪れる。2001年東京から大分県国東半島へ移住。2009年写真集『カミサマホトケサマ』で第9回がらみはら写真新人奨励賞受賞、現在も民族、文化、環境をテーマに取材、撮影を続ける。

周南市美術博物館

〒745-0006 山口県周南市花島町10-16 TEL(0834)22-8880 FAX(0834)22-8886
主催/周南市文化振興財団 共催/山口放送 後援/読売新聞社 協賛/富士フィルム株式会社

林忠彦賞ホームページ <http://hayashi-award.com>

